

今回は、「ミッドセンチュリースタイルの女性専用シェアハウスの共用リビング」という専用住宅ではない課題となったが、きちんと出題の意図をくみ取った雰囲気のある作品になっており、この試験の目的が少しずつ定着してきたように感じられた。

全般的に、モデリングの完成度は高くなっているが、レンダリングにおいての照明効果などにも気を使ってほしい。また、CAD ソフトによって作成されたパース画像に明るさや色調補正などを行うテクニックも必要である。応用課題の提案書に関しては、作成練習が足りていないように思われる。試験問題にも記載されているようにインテリアスタイルにあったフォントの選択やイメージ画像などを効果的に入れた提案書が作成できるよう練習を積んで欲しい。

基礎課題においては、モデリングの正確さが要求され、梁型や天井段差、建具形状などの表現が正しくできていない作品での合格は望めない。また、日光や照明効果の表現が不足しているもの、パース画像に不要な線が描画されるなどの不具合も見受けられ、使用ソフトの設定に関する理解が足りていないように感じられた。

応用課題では、相変わらず言葉に頼った表現が多くなってしまったのは残念である。コンパクトな文章でまとめ、文字フォントやイメージ画像なども含めてミッドセンチュリーというインテリアを表現する工夫が欲しい。

金賞、銀賞の作品は、課題に沿ったミッドセンチュリーのソファやイーgerチェアなどの家具でまとめられ、イメージカラーなども含めてミッドセンチュリーの雰囲気を演出したパース画像を作成している上、タイトルやパースの配置などのバランスが良く、提案書としてまとまったものとなっている。銅賞の作品は、挿入された人物画像などにより「女性専用シェアハウスの共用リビング」の雰囲気が良く表現されている。

今回もファイル形式を間違えていたものがあり、非常に残念であるが試験の性質上採点対象外とせざるを得ないと判断した。提出する際には、指定されているフォルダ名やファイル名、ファイル形式をよく確認して頂きたい。

審査する側であるが、作品レベルが上がってきており、今後の作品に期待が高まる。